

# ESD全国こども フォトコミュニケーション プロジェクト

—— 未来に残したい、私たちの地域の大切なものさがし ——

## サポーターズ・マニュアル

### 活動募集

【募集期間】2014年9月1日(月)～10月8日(水) 必着

### 選定委員会

全国から応募された活動報告シートを、全国7ブロックで選定

【実施時期】2014年10月中旬(予定)

### 全国発表会

選定委員会で選ばれた事例のうち各ブロック1事例ずつ、全国発表会で発表。

【実施時期】2014年11月2日(日)・国連大学(東京都渋谷区)

主催 環境省

共催 全国地方新聞社連合会

協力 認定NPO法人「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議 (ESD-J)、公益財団法人日本環境協会、  
公益財団法人ボーイスカウト日本連盟、公益社団法人ガールスカウト日本連盟、日本教育新聞社、一般社団法人共同通信社

## ESDとフォトコミュニケーションプロジェクトについて

# ESDってこういうこと

## ～地球と地域の未来を創る「学び合い」と「人づくり」～

ESDは「持続可能な開発のための教育」(Education for Sustainable Development)の略称で、社会の課題と身近な暮らしを結び付け、将来に向けてそれら課題を解決する力を身につけるための学習や活動のことをいいます。一人ひとりが、世界の人々や将来世代、また環境とのかかわりの中で生きていることを思い、行動していくための教育といえるでしょう。

私たちは今、資源の枯渇や地球温暖化、異常気象などの環境問題や、戦争や貧困といった社会問題など、様々な課題に直面しています。このような課題を解決し、豊かな地球を未来へ残すために何ができるのか。社会や地域の人みんなで考え、行動することが求められています。

そうした未来へ向けた取組に、必要とされる力や考え方を人々が学び育むことは、学校だけでなく日常生活の様々な場面で行われることが大切です。

国連はDESD (ESDの10年)として、2005年～2014年の10年間、世界各地でESDの積極的な取組を呼びかけました。実はこの取組を提案したのが日本なのです。

2014年はその最終年となり、11月に岡山市と名古屋市で「ESDに関するユネスコ世界会議」が開催されます。世界中からESDにかかわる政府関係者や教育関係者が集まり、ESDの10年以降、何をすべきかが話し合われます。

### もっとくわしく知りたい人はこちらを

【環境省・パンフレット】 [https://edu.env.go.jp/desd/esd\\_pamphlet\\_140328.pdf](https://edu.env.go.jp/desd/esd_pamphlet_140328.pdf)

【環境省・動画で見よう】 <https://www.eeel.go.jp/env/esdmov.php#m1>

【民間ネットワーク組織ESD-Jによる解説】 <http://www.esd-j.org/j/esd/esd.php>

# 写真でコミュニケーションしよう!

1枚の写真には、言葉では伝えきれない多くの情報があります。写真を使って多くの人とメッセージを交換しあうこと。そのコミュニケーションが、より大きな共感と理解をつくるものになります。

今回の「ESD全国こどもフォトコミュニケーションプロジェクト」は、将来を担う全国のこどもたちがみんなで話し合って「地域にとって大切なもの＝未来へ残したいもの」を見つけ、さらに多くの人に伝えようとするプロジェクトです。本プロジェクトでは「地域にとって大切なもの」を見つけ出すために、こどもたちが話し合い、自分たちで選んだ大切なものを写真に残します。大切なものに込めたこどもたちの思いを綴ることで地域への思いを育み、地球と地域の未来をつくる学びと人づくりにつなげていきたいと考えています。



## みなさんの地域で「未来に残したい大切なもの」を探し出してください。

ステップ

1

### グループをつくろう!

参加するグループをつくる。(対象は小中学生。話し合えるこどもが2人以上いること。家族(兄弟姉妹)やクラブ、サークルなど、すでにあるグループでも結構です)



ステップ

2

### 「未来に残したい、地域の大切なもの」を話し合おう!

自分たちの地域で「未来へ残したい大切なもの」を探し出すために話し合う。たくさんの候補を上げて、意見を出し合って最後に一つを選ぶ。グループで出た意見は書き出して記録し、意見の違いなど話し合いの経過がわかるよう、活動報告シートの2枚目に記入する。

例えば、

- この地域でずっと守られてきた自然やもの(景色や場所)
- 地域で続けてきたお祭りや行事、遊びや仕事など(人がしてきたこと)
- みんなの地域にある、なくなったらいやだと思ふもの(景色や人がしてきたこと)
- 友だちの笑顔、いろいろな人の集まり(人そのものを取り上げる) など

ステップ

3

### 一番残したい、地域の大切なものを写真にとろう!

グループで、もっとも大切にしたいと思うものを決めたら、それぞれの視点、見方によりそのものの写真を撮影する。それをプリントアウトして、所定の活動報告シートの3枚目に貼る。(1グループで1枚ではなく、1人1枚での応募がかまいません)(画像データは選定結果が出るまで保管ください)



ステップ

4

### 「活動報告シート」を完成させて送付する

活動報告シートを記入し、完成。各ブロックごとの受付事務局に郵便で送る。(応募にあたっては応募規約を読み、承諾の上お送りください)

## 指導のポイント

### ステップ 2

## 「未来に残したい、地域の大切なもの」を話し合おう!



子どもたちが、地域の「未来へ残したい大切なもの」を探し出すために話し合う

▶ 自分たちの住む地域の特徴や、地域の未来を意識させる。

### すすめ方のポイント

- とにかく声に出す、数多く出す
- 答えを出すスピードではなく、考えさせることが目的
- みんなの意見は賛否にかかわらず書いて残す
- ちがう意見がひとつの結論にいたった経緯を書き残す

例えば、

- 地域の古い神社
- 地域に残る巨木
- きれいだなと思う風景
- 生き物が多い自然の場所
- 地域の人が必ず知っている場所
- 地域で続けられてきたお祭りや行事
- 地域の人が大切にしてきたもの などなど

### サポーターの役割

大人は子どもたちの話し合いが活発になるためのサポートに徹します

- いろんな意見が出るよう、話しやすい場をつくる
- 始める前に、話し合いの目標とゴールを決める  
たくさんの候補を上げて、みんなで話し合っ、最後に一つを決める
- 話し合いは雑談から。面白い意見を出して、さらにそれにつなげて楽しい会話から、目指す目標が見えてくる
- 話したことは、反対意見も含めて書き残し、活動報告シートに記入する。記録する係を決めてすすめるのもよい
- しっかりと時間をとり、話し合う時の人数にも工夫を  
4~5人が話しやすい規模になる
- 大人が介入して、結論に導かない

どれかに決める

- グループ全体で、最も残したいと思うものを話し合いで決める。
- どうしてそれが大切だと思うか。グループとしてほかのものより、それに決めた経過を理解させる。

### ステップ 3

## 一番残したい“地域の大切なもの”を写真にとろう!

写真を撮りに行く ▶ 写真を観る人に伝えるにはどうしたらいいか意識する。

### すすめ方のポイント

- 安全確保はしっかりと
- 人の土地に入る、人を撮るときは、はじめにお断りする
- 何を撮るか、はじめに撮るものを意識する
- 撮影はそれぞれのこどもの視点、見方によって自由にさせる

写真撮影

- 写真はグループで撮りにいく。
- 個人のセンスで撮影し、活動報告シートに貼りこむものは、個人個人で選んで完成する。
- 例えば、「町の大木」も全体を撮るのか、枝葉を撮るのか、根を撮るのかは自由に。

### サポーターの役割

大人は子どもたちの活動が安全に行えるよう、サポートします

- 危険な場所ではないか、安全に活動ができるかを確認し、徹底する
- 撮影場所や撮影するものが人の土地や所有である場合、必ず事前に撮影の趣旨を説明し、許諾を得る
- 特に人の顔や全身を撮る際は、使用目的を説明し、許諾の上撮影する  
サポーターは、地域から協力を得られるように支援する



ステップ  
4

## 「活動報告シート」を完成させて送付する

活動報告シートを記入、仕上げる ▶ できるだけ地域の特徴を表すよう意識する。

### すすめ方のポイント

- 写真はプリントアウトして、所定のスペースに糊付け
- 話し合いで出た意見は、なるべく多く取り上げ、箇条書きで記入
- 記入は1人1枚。グループで取り組んでも1人ずつで参加可

### サポーターの役割

- 大人は子どもたちの作業が順調に進むよう、サポートします
- 話し合いで出た意見は、できるだけ子どもたちに書き留めていくよう指導する。その経過こそ、ESDで大事にしている学びがある
  - グループで話し合う時間、一人で考える時間、活動報告シートを仕上げる時間と段階にわけて、子どもたちの集中できる環境をつくる
  - 締切期日までに送れるよう、時間管理と送付の段取りをしっかり行う

### 記入

- 話し合いの経緯がわかるように、意見の出た順に、なるべく出た意見を細かく記入。
- 反対の意見も賛成の意見も、どちらがいいかは別に記録として残す。
- 箇条書きや→などを使ったチャートで書いてもよい。

## 応募する

- ▶ 全国7ブロックで受付事務局を設置しています。

お住まいの地域で該当する受付事務局にお送りください。

### 北海道ブロック

(北海道)  
「ESD全国こどもフォトコミュニケーションプロジェクト」  
北海道事務局  
〒060-8711 北海道札幌市中央区大通西3-6  
北海道新聞社広告局内  
お問い合わせ：011-210-6022(平日9:30~17:30)

### 近畿ブロック

(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)  
「ESD全国こどもフォトコミュニケーションプロジェクト」  
近畿事務局  
〒650-8571 兵庫県神戸市中央区東川崎町1-5-7  
神戸新聞社営業局内  
お問い合わせ：078-362-7077(平日10:00~17:00)

### 東北ブロック

(青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県)  
「ESD全国こどもフォトコミュニケーションプロジェクト」  
東北事務局  
〒980-8660 宮城県仙台市青葉区五橋1-2-28  
河北新報社営業部内  
お問い合わせ：022-211-1318(平日10:00~17:00)

### 中国四国ブロック

(鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県)  
「ESD全国こどもフォトコミュニケーションプロジェクト」  
中国四国事務局  
〒700-8634 岡山県岡山市北区柳町2-1-1  
山陽新聞社営業局内  
お問い合わせ：086-803-8013(平日10:00~17:00)

### 関東ブロック

(茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、静岡県)  
「ESD全国こどもフォトコミュニケーションプロジェクト」  
関東事務局  
〒100-8505 東京都千代田区内幸町2-1-4 東京新聞広告局内  
お問い合わせ：03-6910-2487(平日10:00~17:00)

### 九州ブロック

(福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県)  
「ESD全国こどもフォトコミュニケーションプロジェクト」  
九州事務局  
〒860-8506 熊本県熊本市中央区世安町172  
熊日サービス開発株式会社内  
お問い合わせ：096-361-3366(平日10:00~17:00)

### 中部ブロック

(富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、愛知県、三重県)  
「ESD全国こどもフォトコミュニケーションプロジェクト」  
中部事務局  
〒500-8577 岐阜県岐阜市今小町10番地 岐阜新聞社広告局内  
お問い合わせ：058-264-1158(平日10:00~17:00)